※令和４年度以降入学生用

学校番号	１２０４

令和８年度　学コミュニケーション科

教科	学コミュニケーション	科目	（学）映像で見る社会	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	社会科作成プリント・映像教材（DVD 等）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・教科書や資料集などの情報だけでは、理解することが難しい歴史上の問題や現代の社会問題、国際問題などについて、映像を使った資料を視聴して学習すること。

・映像を視聴して、自分が感じたこと、思ったこと、理解したことをしっかり表現すること。感じたこと、思ったことに正解・不正解はありません。

2　学習の到達目標

・これからの多民族社会に必要な基本的な知識を身につける。
・日本や世界のさまざまな問題について、その背景・原因・解決策などを多面的・多角的に考察し、議論を通じて自らの考えや感じたことを表現し、他者に伝える力を養う。
・自らを取り巻く社会課題について、主体的に解決に向けて取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・映像を通して、日本の歴史的事象、現代社会の諸問題について、理解を深めている。 ・映像を通して、世界の歴史的事象、現代社会の諸問題について、理解を深めている。	・映像を視聴して、自ら感じたこと、思ったこと、理解したことを表現することができる。 ・各事象、諸問題に関して、日本と世界を比較して思考・判断することができる。	・学習内容を自分たちの周りを取り巻く諸問題であり、自分たちの生活への関係性を考えて学習に取り組むことができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
半期	国籍・人種問題	・世界を取り巻く国籍の問題、人種差別問題について、映像を通して理解を深める。	a:学習内容についての理解を深めている。 b:学習内容について、自らの考えを思考し、ワークシートや発表を通して、他者に表現できる。 c:学習内容について、自分や自分の身の回りへの関係性を踏まえて、学習に取り組むことができる。	・ワークシート	・ワークシート ・発表	・ワークシート ・観察
	障がい者問	・現代社会における障がい者問題について、映像を通して理解を深める。				
	労働問題	・日本と世界の労働問題について、映像を通して理解を深める。				
	歴史的諸問	・現代社会を形成することになった歴史的諸事象に関する資料を通して理解を深める。				

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度